

◇9月14日～16日 岡山大学津島キャンパスにて71年会が開催されますが、会員の皆さんは参加されますでしょうか？
5月開催の討論会に続き対面開催であるため、関係者と意見交換を行い、懇親を深める絶好の機会と思います。筆者は原稿執筆の時点では参加する予定です。

◇さて、今月号のミニファイルでは衛生と安全をテーマに、局所排気装置の適切な取扱いについて取り上げています。普段、何気なく使用している局所排気装置ですが、使用方法が不適切な場合、有害蒸気、粉塵を吸引することになり、健康を害する可能性があります。筆者が経験した状況をご紹介しますと、十数年前になります。亜硫酸水素ナトリウム溶液の容器を開封したときに蒸気を吸引して数秒間呼吸ができなくなり非常に困惑したことがあります。局所排気装置を稼働させてはいたのですが、排気口から試薬瓶までの距離が適切ではなかったためにこのような事態になりました。その後、体調に異常はなく、今も老化による影響以外、体調は問題ありません。自身の衛生と安全を確保した状態で実験を行うよう、皆様もご注意いただければと思います。

[K. T.]

〈とびら〉

生きた証……………田中秀治

〈入門講座〉 地球環境問題へのとびら

水質汚染（湖沼）閉鎖性水域の富栄養化など……………宮原裕一

〈解 説〉

異物分析における熱分解ガスクロマトグラフィー

質量分析法の活用……………木下健司

〈ミニファイル〉 衛生と安全

化学防護手袋の耐透過性をふまえた適正使用……………田中 茂

〈話 題〉

微小領域の温度を視る—細胞挙動から生命現象まで—

……………井上高教

◇ 編 集 委 員 ◇

〈委員長〉 勝田正一 (千葉大院理)	東海林 敦 (東京薬科大薬)	菅 寿美 (海洋研究開発機構)
〈副委員長〉 菅沼こと (帝人 株)	村居景太 (株共立理化学研究所)	
〈理 事〉 津越敬寿 (産業技術総合研究所)	稲川有徳 (宇都宮大院地域創生科学)	岩井貴弘 (理化学研究所)
〈幹 事〉 坂牧 寛 (化学物質評価研究機構)	齊藤和憲 (日本大学生産工)	高橋あかね (オルガノ 株)
富岡賢一 (三菱マテリアル株)	谷合哲行 (千葉工業大先進工)	照井教文 (一関高専)
〈委 員〉 市場有子 (ライオン 株)	中原佳夫 (和歌山大システム工)	野間誠司 (佐賀大農)
岡村浩之 (日本原子力研究開発機構)	堀田弘樹 (神戸大院海事科学)	松神秀徳 (国立環境研究所)
田中佑樹 (千葉大院薬)	宮下振一 (産業技術総合研究所)	森 勝伸 (高知大理工)
永谷広久 (金沢大院自然科学)	山崎由貴 (国立医薬品食品衛生研)	
福島 健 (東邦大薬)		
三浦篤志 (北大院理)		
森山孝男 (株リガク)		

☑ 複写される方へ

日本分析化学会は学術著作権協会（学著協）に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写する場合は、学著協より許諾を受けて複写してください。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3階
一般社団法人 学術著作権協会

FAX：03-3475-5619 E-mail：info@jaacc.jp

なお、複写以外の許諾（著作物の転載願い等）は、学著協では扱っていませんので、直接日本分析化学会へお尋ねください。

ぶんせき 2022年 第9号（通巻573）

2022年9月1日印刷

2022年9月5日発行

定価1,000円

編集兼発行人 公益社団法人 日本分析化学会

印刷所 〒173-0025 東京都板橋区熊野町13-11

株式会社 双文社印刷

発行所 〒141-0031 東京都品川区西五反田1-26-2

五反田サンハイツ304号

公益社団法人 日本分析化学会

電話 総務・会員・会計： 03-3490-3351

編集： 03-3490-3537

FAX：03-3490-3572

振替口座：00110-8-180512

© 2022, The Japan Society for Analytical Chemistry

購読料は会費に含まれています。